



MRJ (Mitsubishi Regional Jet) ロールアウト式典 [2014年10月18日実施]

平成 26 年度 **中間報告書**
(第1四半期・第2四半期)

証券コード 7011

超えていく。
130TH
Anniversary

 **三菱重工**

この星に、たしかな未来を

概況

株主の皆様には、平素より格別のご支援、ご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

平成26年度第2四半期連結累計期間の概要についてご報告申し上げます。

取締役会長 大宮英明

取締役社長 宮永俊一

1. 経済情勢

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、米国は緩やかな景気回復が続き、欧州地域では全体として持ち直し、アジアは総じて安定した成長でしたが、中国で低調な状態が継続したため、そのペースは緩慢なものとなりました。また、我が国経済は消費税率引上げによる駆け込み需要の反動も和らぎつつありましたが、設備投資や企業収益の改善には足踏みがみられ、全体としては緩やかな回復基調となりました。

2. 連結経営成績の概要

このような中、当第2四半期連結累計期間の当社連結業績は、受注高が1兆7,641億円、売上高は1兆7,591億円、営業利益は1,182億円、経常利益は1,279億円、税金等調整前四半期純利益は881億円となりました。また、税金等調整後の四半期純利益は380億円となりました。

当年度の中間配当金につきましては当第2四半期までの累計決算実績及び年間の業績見通しを考慮し、平成26年10月31日の取締役会の決議により、1株につき5円の配当とし、平成26年12月3日からお支払いを開始することとさせていただきます。

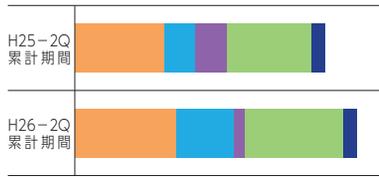
【連結受注高・売上高・営業利益・経常利益・四半期純利益】

	平成25年度 第2四半期累計期間 (平成25年4月1日～ 平成25年9月30日)	平成26年度 第2四半期累計期間 (平成26年4月1日～ 平成26年9月30日)	増減額
受注高	15,655億円	17,641億円	+1,986億円
売上高	15,055億円	17,591億円	+2,535億円
営業利益	754億円	1,182億円	+427億円
経常利益	598億円	1,279億円	+681億円
四半期純利益	328億円	380億円	+52億円

(表中の億円表示については、単位未満切捨て)

部門別の概況

受注高 **17,641** 億円



	(H25-2Q累計)	(H26-2Q累計)
■ エネルギー・環境	5,743億円	6,507億円
■ 交通・輸送	2,054億円	3,793億円
■ 防衛・宇宙	2,058億円	656億円
■ 機械・設備システム	5,435億円	6,374億円
■ その他	925億円	955億円
消去または共通	△ 562億円	△ 646億円

■ エネルギー・環境

㈱日立製作所との火力事業の統合効果もあり、火力発電プラントの受注が増加したことにより、前年同期を上回った。

■ 交通・輸送

MRJ (Mitsubishi Regional Jet) や交通システム等の大型商談を受注したことにより、前年同期を上回った。

■ 防衛・宇宙

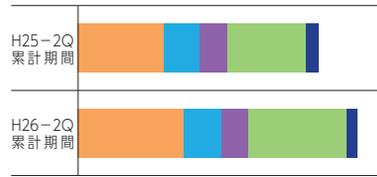
前年同期に大型受注のあった防衛航空機、艦艇等が減少したことにより、前年同期を下回った。

■ 機械・設備システム

フォークリフトが事業統合効果により増加したほか、ターボチャージャ、空調機が欧州・中国向けで増加した。また、在外グループ会社の決算期変更影響などもあり、前年同期を上回った。

(表中の億円表示については、単位未満切捨て)

売上高 **17,591** 億円



	(H25-2Q累計)	(H26-2Q累計)
■ エネルギー・環境	5,546億円	6,831億円
■ 交通・輸送	2,293億円	2,425億円
■ 防衛・宇宙	1,787億円	1,746億円
■ 機械・設備システム	5,115億円	6,337億円
■ その他	799億円	708億円
消去または共通	△ 485億円	△ 458億円

■ エネルギー・環境

火力事業の統合効果により、前年同期を大きく上回った。

■ 交通・輸送

民間航空機、交通システムを中心に増加し、前年同期を上回った。

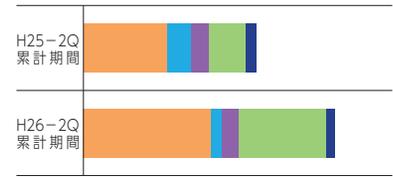
■ 防衛・宇宙

防衛航空機が増加したものの、艦艇等の減少により、前年同期をやや下回った。

■ 機械・設備システム

フォークリフトが事業統合効果により増加したほか、ターボチャージャ、空調機が欧州・中国向けで増加した。また、在外グループ会社の決算期変更影響などもあり、前年同期を上回った。

営業利益 **1,182** 億円



	(H25-2Q累計)	(H26-2Q累計)
■ エネルギー・環境	404億円	618億円
■ 交通・輸送	120億円	54億円
■ 防衛・宇宙	83億円	81億円
■ 機械・設備システム	182億円	423億円
■ その他	52億円	46億円
消去または共通	△ 89億円	△ 42億円

■ エネルギー・環境

火力事業の統合効果による大幅な売上増加に加え、火力発電プラント新設工事の採算改善、アフターサービスの伸長等により、前年同期を上回った。

■ 交通・輸送

商船の採算悪化やMRJの研究開発費増加等に伴い前年同期を下回った。

■ 防衛・宇宙

ほぼ前年同期並みとなった。

■ 機械・設備システム

ターボチャージャ、空調機、フォークリフト等の売上増に加え、コンプレッサの採算改善等により、前年同期を上回った。

四半期連結決算の概要

四半期連結貸借対照表の要旨

(単位：億円)

資産の部	平成25年度末 (平成26年3月31日現在)	平成26年度 第2四半期末 (平成26年9月30日現在)
流動資産	31,808	31,684
現金預金	3,810	2,877
売上債権	11,889	10,586
たな卸資産	11,509	12,953
繰延税金資産	1,772	1,779
その他流動資産	2,827	3,486
固定資産	17,051	18,023
有形固定資産	9,304	9,303
無形固定資産	1,711	2,009
投資その他の資産	6,035	6,711
投資有価証券	4,028	4,405
繰延税金資産	410	190
その他	1,596	2,115
資産合計	48,860	49,708

(平成25年度末) (平成26年度第2四半期末)

(注) 有形固定資産の減価償却累計額 20,264億円 20,309億円

負債及び純資産の部	平成25年度末 (平成26年3月31日現在)	平成26年度 第2四半期末 (平成26年9月30日現在)
流動負債	22,852	21,633
買入債務	8,014	7,197
短期借入金	3,525	2,639
前受金	5,674	6,119
その他流動負債	5,638	5,677
固定負債	8,265	8,957
社債	1,750	2,450
長期借入金	3,599	3,792
繰延税金負債	253	649
その他固定負債	2,662	2,066
負債合計	31,118	30,591
株主資本	14,955	15,569
資本金	2,656	2,656
資本剰余金	2,039	2,040
利益剰余金	10,313	10,926
自己株式	△ 53	△ 53
その他の包括利益累計額	478	741
その他有価証券評価差額金	431	544
繰延ヘッジ損益	△ 10	3
為替換算調整勘定	346	435
退職給付に係る調整累計額	△ 290	△ 241
新株予約権	26	32
少数株主持分	2,281	2,773
純資産合計	17,742	19,117
負債及び純資産合計	48,860	49,708

四半期連結損益計算書の要旨

(単位：億円)

	平成25年度 第2四半期累計期間 (平成25年4月1日から 平成25年9月30日まで)	平成26年度 第2四半期累計期間 (平成26年4月1日から 平成26年9月30日まで)
売上高	15,055	17,591
営業費用	14,301	16,408
営業利益	754	1,182
営業外収益	79	270
営業外費用	235	173
経常利益	598	1,279
特別利益	64	—
特別損失	71	398
税金等調整前四半期純利益	591	881
法人税等	256	335
少数株主利益	6	165
四半期純利益	328	380

(平成25年度第2四半期累計期間) (平成26年度第2四半期累計期間)

(注) 1株当たり四半期純利益 9円78銭 11円33銭

四半期連結キャッシュ・フロー計算書の要旨

(単位：億円)

	平成25年度 第2四半期累計期間 (平成25年4月1日から 平成25年9月30日まで)	平成26年度 第2四半期累計期間 (平成26年4月1日から 平成26年9月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	739	59
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,063	△ 1,004
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 44	49
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 99	64
現金及び現金同等物の増減額	△ 468	△ 831
現金及び現金同等物の期首残高	3,194	3,707
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	39	—
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	—	△ 108
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,765	2,767

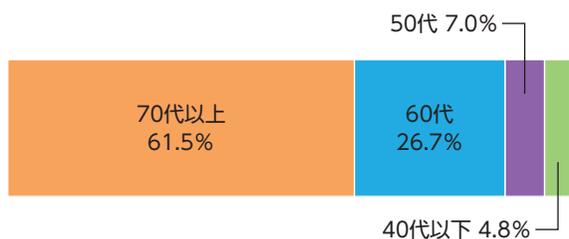
(表中の億円表示については、単位未満切捨て)

アンケート結果のご報告

本年6月に実施いたしましたアンケートにつきましては、大変多くの株主の皆様からご回答をいただき、誠にありがとうございました。

お寄せいただいたご回答の集計結果を下記のとおりご報告申し上げますとともに、皆様からいただいた貴重なご意見を真摯に受け止め、今後の経営に反映させてまいります。

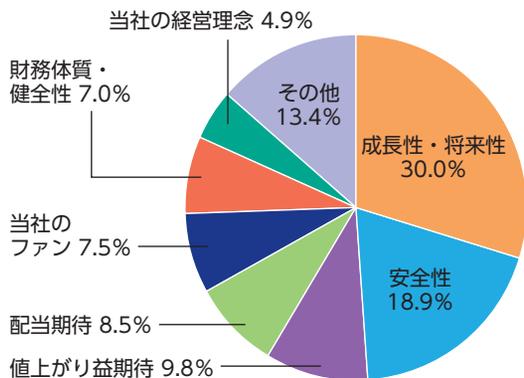
ご回答者の年齢構成



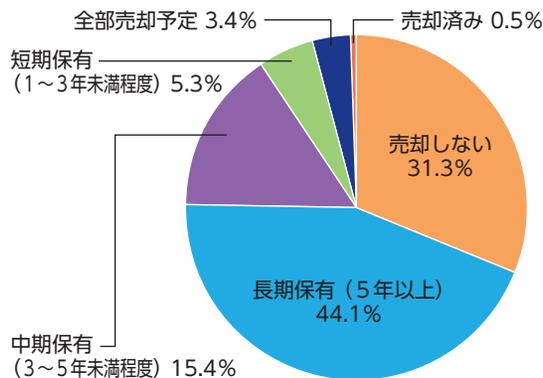
ご回答者の株式保有期間



当社株式を購入された理由



今後の保有期間についてのお考え



このほか自由記述欄では、「MRJ (Mitsubishi Regional Jet) に期待する」「工場見学会の充実を」等様々なご意見やご要望を多数頂戴いたしました。当社は、上記アンケート結果及び頂戴したご要望を踏まえ、これからも社会から信頼され、日本の良さを世界に発信する企業を目指し、グローバル社会に高い付加価値を提供してまいりますので、株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。なお、本年6月に開館20周年を迎えた三菱みなとみらい技術館のご招待券を本冊子に添付しておりますので、ぜひご活用ください。

● 最近の主なニュースとお知らせ

PM2.5などの煤塵除去に向け中国市場で本格的な環境ビジネスを展開

三菱日立パワーシステムズ(MHPS)は、電気集塵機で中国最大手である浙江菲達環保科技有限公司と合併で、環境装置専業の新



高性能煤塵除去システム

会社を設立することで合意し、契約を締結しました。石炭火力発電所から排出されるPM2.5などの煤塵除去に向け、中国市場で本格的な総合排煙処理システムをビジネス展開するのが狙いです。MHPSは今後、新会社の事業展開を全力で支援し、中国社会の環境負荷低減に貢献していきます。

米国イースタン航空から40機受注し、MRJ累計375機受注

三菱航空機は、米国イースタン航空と次世代リージョナルジェット機MRJ40機の購入(確定20機、購入権20機)で正式契約を締結し、これまでの累計受注機数を375機としました。また、これらの受注に加えJALグループと32機(確定)の導入で基本合意しています(9月26日現在)。引き続きMRJの営業活動に注力していくとともに、2015年第2四半期の初飛行に向け開発作業に取り組んでいきます。



画像提供：三菱航空機(株)

スカパーJSAT株式会社から衛星打上げ輸送サービスを初受注

当社はアジア・オセアニア地域最大の放送・通信衛星オペレーターであるスカパーJSAT株式会社から、初めて衛星打上げ輸送サービスを受注しました。衛星は、当社のH-IIAロケットを用いて、2016年度に打上げる予定です。H-IIAロケットは、これまでに24機中23機の打上げに成功し、打上げ成功率は約96%です。今回の受注を弾みとして、わが国の自在的な宇宙活動を支える産業基盤の確立に中心的な役割を果たしていきます。



H-IIAロケット24号機

独シーメンス社と製鉄機械の合併会社を設立

当社は5月7日、ドイツのシーメンス社と製鉄機械の合併会社を設立することで合意しました(2015年1月設立予定)。製鉄機械事業における製品ラインナップの拡充とグローバル展開を加速するのが狙いで、新会社は製鉄プロセスの上流から下流までをカバーする製品をフルラインで供給する体制の整備と、全世界を網羅する事業ネットワークの構築に取り組むことにより、顧客に対し、より付加価値の高い製品・サービスを提供することを目指します。



● 当社施設の紹介～皆様のご来館をお待ちしております～ ●

三菱みなとみらい技術館へのご招待

明日を担う青少年たちが科学技術に触れ、夢を膨らませる場となることを願い開設された三菱みなとみらい技術館は、おかげさまで本年6月に20周年を迎えることができました。8月に「第8回キッズデザイン賞」(キッズデザイン協議会主催)の経済産業大臣賞を受賞した「スペース・プロジェクト」他、参加体験型の展示をお楽しみください。

◆皆様のご来館をお待ちしております。

所在地: 横浜市西区みなとみらい三丁目3番1号 三菱重工横浜ビル内
アクセス: みなとみらい線「みなとみらい」駅5分 徒歩3分
 JR根岸線/横浜市営地下鉄「桜木町」駅より徒歩8分
開館時間: 午前10時～午後5時(入館は午後4時30分まで)
休館日: 毎週火曜日(火曜日が祝日の場合は翌日)、年末年始及び特定休館日(平成26年12月29日(月)～平成27年1月4日(日)、2月17日(火)～28日(土))
お問い合わせ: 電話番号 045-200-7351
ホームページ: <http://www.mhi.co.jp/museum/> (臨時休館日等をご確認ください)



工場見学会のご案内

第21回工場見学会を下記のとおり三原製作所（広島県三原市）で開催いたします。
多くの皆様のご応募をお待ちしております。

見学会概要

- ・見学場所 三原製作所（広島県三原市）
三原地区では、100パーセント超低床車両（LRV：Light Rail Vehicle）、新交通システム（AGT：Automated Guideway Transit）、新幹線用ブレーキ、プラットホームドア、コルゲートマシン、製函機など、日常生活に関連した製品を多く手がけています。
また、10月には日本初の総合交通システム検証施設「MIHARA試験センター」も完成し、今後は日本のインフラ輸出戦略の柱の一つとして挙げられている鉄道システムの競争力強化に取り組んでまいります。この機会には是非ご覧ください。
- ・実施日時 平成27年3月13日（金）
13：00～17：00（予定）
- ・対象者 当社株主の方（同伴者1名様まで可）
- ・集合・解散 JR三原駅（予定）
- ・参加費 無料（ただし、集合・解散場所までの往復交通費は各自のご負担とさせていただきます。）



紙工機械（製函機）EVOL-100



高速新交通システム

応募要領

- ・応募方法 右記のとおり郵便はがきに必要な事項をご記入の上、ご応募ください。
- ・締切日 平成26年12月31日（水）（当日消印有効）
- ・募集人数 80名様（同伴者を含む）

※お申し込み多数の場合は、抽選とさせていただきます。
また、複数枚ご応募いただいた場合は1件とさせていただきます。
厳正な抽選の上、当選発表につきましては当選者へのご連絡（1月下旬発送予定）をもって代えさせていただきます。
その際、当日のスケジュール等詳細を併せてご連絡いたします。
※ご応募により当社が取得する個人情報、本工場見学会を実施する上で必要な限りにおいてのみ使用いたします。
※ご見学時は、バスの乗り降りや階段の昇り降りがあり、1時間程度工場内をお歩きいただくこともございますのでご了承ください。
なお、ご高齢の方及び小学生以下の方のご参加の際には、同伴者をお願いする場合があります。

郵便はがき

52円
切手

1088215

三菱重工業(株)
広報部
工場見学会係

東京都港区港南
一丁目16番5号

あて名面

- 郵便番号
- 住所
- 氏名
(ふりがなをご記入ください。)
- 電話番号
- 性別
- 年齢
- 同伴者の住所、氏名(ふりがな)
電話番号、性別、年齢

裏面

お問い合わせ先

三菱重工業株式会社 グループ戦略推進室 広報部 広報グループ
電話番号：03-6716-3111（大代表）
8：45～17：30（土・日、祝祭日、当社休日を除く）

● 会社の概要

概要

社名 三菱重工業株式会社
本社 東京都港区港南二丁目16番5号
〒108-8215
電話番号03-6716-3111

創立 明治17年7月7日
設立 昭和25年1月11日
資本金 265,608百万円
(平成26年9月30日現在)

従業員数 21,727名
連結：75,186名
(平成26年9月30日現在)

ホームページ <http://www.mhi.co.jp>

役員

(平成26年9月30日現在)

取締役会長	大宮 英明	取締役	小島 順彦
* 取締役社長	宮永 俊一	取締役	クリスティーナ・アメージャン
* 取締役副社長執行役員	前川 篤	取締役	津田 廣喜
* 取締役副社長執行役員	鯨井 洋一	常勤監査役	矢神 俊郎
* 取締役常務執行役員	水谷 久和	常勤監査役	井須 英次
* 取締役常務執行役員	木村 和明	監査役	畔柳 信雄
* 取締役常務執行役員	野島 龍彦	監査役	上原 治也
取締役常務執行役員	船戸 崇	監査役	伊東 信一郎
取締役常務執行役員	兒玉 敏雄		

(* 印は代表取締役)

株式の状況

(平成26年9月30日現在)

発行可能株式総数 6,000,000,000株
発行済株式総数 3,373,647,813株
株主数 264,811名

所有者別株式保有状況



 三菱重工業株式会社

● 株主メモ

■ 決算期 3月31日
■ 定時株主総会 開催期 6月下旬
■ 基準日 定時株主総会議決権行使株主確定日：3月31日
期末配当金支払株主確定日：3月31日
中間配当金支払株主確定日：9月30日
その他の基準日：上記のほか必要ある場合は、取締役会の決議によりあらかじめ公告して設定

■ 単元株式数 1,000株
■ 公告方法 電子公告
ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告をすることができない場合は日本経済新聞に掲載して行います。
※電子公告掲載ウェブサイト <http://www.mhi.co.jp>

■ 株主名簿管理人・特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社
■ 上記連絡先 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先及び電話照会先)
〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号
電話番号 0120-232-711 (通話料無料)

1. 株式に関する各種お手続き

- 株券電子化に伴い、株式に関する各種お手続き（住所変更、配当金振込指定・変更、単元未満株式買取・買増請求等）は、原則として、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録されている株式（証券会社等の口座に振替手続きがお済みでない株式）に関する各種お手続きにつきましては、特別口座の口座管理機関である三菱UFJ信託銀行で承りますので、上記連絡先（郵便物送付先及び電話照会先）にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店でもお取り扱いさせていただきます。

【ご注意】

特別口座に記録されている株式は、株式市場で売買できません。株式市場で売買するためには、証券会社等に口座を開設し、三菱UFJ信託銀行の特別口座から証券会社等の口座へ株式をお振り替えいただく必要があります。特別口座から証券会社等の口座への振替のお手続きにつきましても、三菱UFJ信託銀行で承ります。

2. 単元未満（1,000株未満）株式をお持ちの株主様へ（買取・買増制度のご案内）

単元未満株式はそのままでは株式市場で売買できませんが、株主様は、当社に対して買取（株主様のご売却）あるいは買増し（株主様のご購入）をご請求いただけます。お手続きについては、口座を開設されている口座管理機関（上記1. (1) 及び (2) ご参照）にお問い合わせください。なお、買取請求、買増請求の手数料は無料となっております。

①買取制度：ご所有の単元未満株式を当社が市場価格で買取らせていただく制度です。

②買増制度：ご所有の単元未満株式と併せて1単元株式（1,000株）となるように、株主様に当社から不足分の株式を市場価格でご購入（買増し）いただく制度です。

(具体例) 株主様が現在652株をご所有の場合、当社を通じて348株をご購入いただき、合計1,000株とすることができます。

